

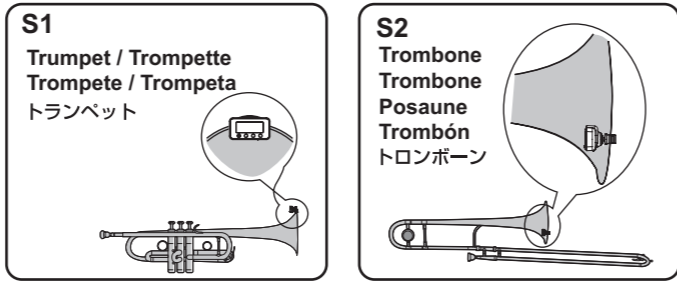
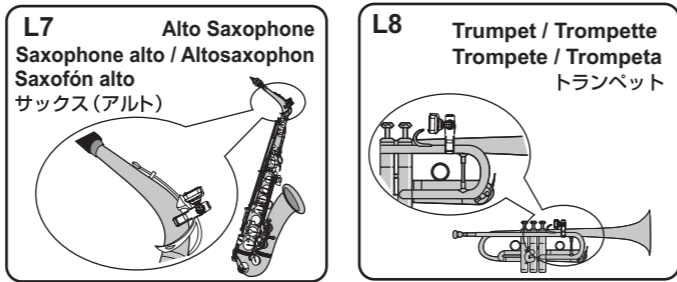
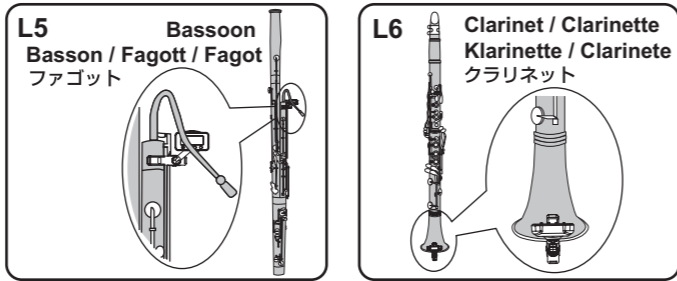
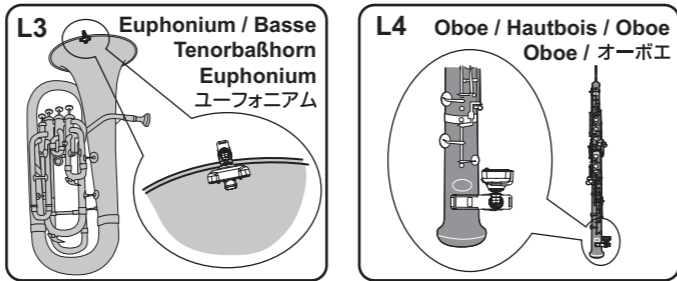
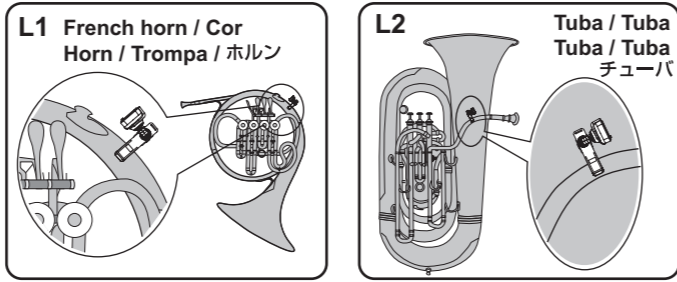


このたびは、ヤマハクリップオンチューナー/メトロノーム TDM-37L、TDM-37Sをお買い上げいただきました、まことにありがとうございます。
 Thank you for purchasing the Yamaha CLIP-ON TUNER/METRONOME TDM-37L, TDM-37S.
 Merci d'avoir choisi la CLIP-ON TUNER/METRONOME TDM-37L, TDM-37S de Yamaha.
 Vielen Dank, dass Sie sich für einen TDM-37L, TDM-37S CLIP-ON TUNER/METRONOME von Yamaha entschieden haben.
 Gracias por comprar el afinador para enchufar TDM-37L, TDM-37S CLIP-ON TUNER/METRONOME de Yamaha.

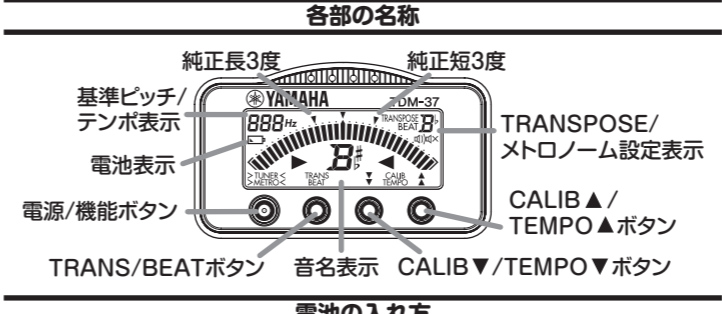
取扱説明書
 OWNER'S MANUAL
 MANUEL D'UTILISATION
 BEDIENUNGSANLEITUNG
 MANUAL DE USUARIO



推奨取付位置
Recommended locations
emplacements recommandés
Empfohlene Anwendung
lugares recomendados



■ご使用になる前に
 ◆取り扱いはやさしく
 スイッチや本体に無理に力を加えたり、本体を落としたりしますと故障の原因となります。ご注意ください。
 ◆お手入れ
 外装のお手入れの際は、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー系の液体、強燃性のポリッシャーなどは絶対にご使用にならないでください。



電池の入れ方
 ▲電池を入れるときや交換するときは、本機の電源を切って行ってください。付属の電池は機能チェック用ですので、寿命の短い場合があります。
 電池が消耗してくると、電池表示()が点滅します。しばらくの間は動作しますが、チューニングが正確にできなくなります。速やかに新しい電池と交換してください。
 1. 本体背面にある電池ホルダーのAの部分、(1)の方向に押しながら、(2)の方向に引き出して取り外します。
 2. 極性に注意してプラス(+)の表示が見えるように電池を挿入します。
 3. 電池ホルダーを元に戻します。

チューナーとメトロノームの切り替え
 電源/機能ボタンを押してチューナー、メトロノームを切り替えます。このときディスプレイは各機能画面に切り替わります。

チューニング

チューニングの方法
 1. 電源/機能ボタンを押して電源を入れて、機能をチューナーにします。音の入力がない状態が約20分続くと、自動的に電源が切れます。
 ▲電源を切るときは、電源/機能ボタンを長押しします。
 2. 必要に応じてキャリブレーション(基準ピッチ)、トランスポーズ(移調機能)の設定をします。
 3. 楽器を単音で鳴らします。認識した音に一番近い音名が表示されます。合わせたい音名が表示されるように、楽器をおおまかにチューニングしてください。
 4. 楽器を単音で鳴らして、メーターの中央(▼)の位置が点灯するようにチューニングします。音が高いときは向かって右側が、低いときは向かって左側が点灯します。ある音に対して、純正の長3度上、または純正の短3度上にチューニングするには、メーターをそれぞれ純正長/短3度マークに合わせます。例えば、Aの音に対して、純正の長3度上の音にするには、音名表示をC[#]にして、メーターを左側の▼に合わせます。また、Aの音に対して、純正の短3度上の音にするには、音名表示をCにして、メーターを右側の▼に合わせます。
 ▲測定範囲内の音程でも、倍音が多く含んだ楽器音や減衰の早い楽器音については、測定できない場合があります。
 ▲周囲の環境によっては振動を拾いメーターが反応する場合がありますが、楽器のチューニングには影響ありません。

キャリブレーション(基準ピッチ)の設定(*M)
 CALIB▼/▲ボタンを押して、410Hz～480Hzの範囲を1Hz単位で変更できます。長押しした場合は連続的に増減させることができます。
 トランスポーズ(移調機能)(*M)
 移調楽器をチューニングするときの機能です。TRANSボタンを押すたびに、F→B→E→C(移調しない/TRANSPOSE表示無し)→F...と切り替わります。

メトロノームの操作
 1. 電源/機能ボタンを押してメトロノーム動作にします。メトロノームがスタートし、テンポに合わせてメトロノームの振り子が左右に動きます。
 2. 電源/機能ボタンを押すたびにメトロノーム(消音)→メトロノーム(発音)→チューナー→メトロノーム(消音)...と切り替わります。このときメトロノーム設定表示が 4x(消音)→4(発音)→表示なし(チューナー)→4x(消音)...と切り替わります。

3. TEMPO▲/▼ボタンを使ってテンポを設定します(*M)。ボタンを長く押しと連続的に値が増減します。
 4. BEATボタンを押してBEAT(拍子)を設定します(*M)。ボタンを長く押しと連続的に値が増減します。
 BEAT: 4 → 5 → 2 (2連符) → 3 (3連符) → 4 → 1-2 → 3 → 4 → ...
 5. メトロノームを停止するときは、電源/機能ボタンを押してチューナー動作にするか、電源/機能ボタンを長押しして電源を切ります。
 ▲電源を入れたときは、常にチューナー動作になります。

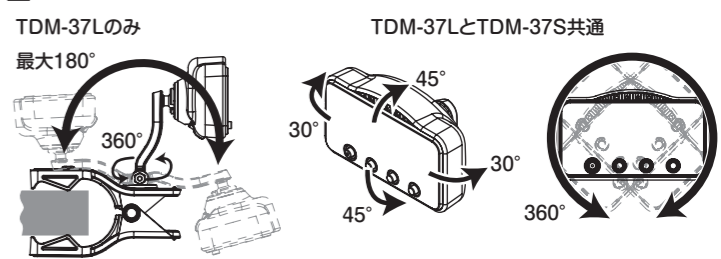
バックライト
 音を入力したとき、ボタン操作時または、メトロノーム時はバックライトが明るく点灯します。チューナー時は約3秒間、音の入力が無くボタン操作もしないと、電池消耗を防ぐため、低輝度の点灯になります。

楽器への取り付けと可動範囲

本機は楽器本体の振動を拾ってチューニングを行います。そのため、ご使用になる楽器の推奨部分に取り付けて、チューニングを行ってください(裏面イラスト参照)。

製品名	楽器名	取り付け位置	イラスト	
TDM-37L	ホルン(シングル、ダブル)	1番管	L1	
	チューバ	マウスパイプ	L2	
	ユーフォニアム	ベル	L3	
	オーボエ	ベル胴部	L4	
	ファゴット	ウイング・ジョイント部	L5	
TDM-37S	E ^b クラリネット	上管		
	B ^b クラリネット	ベル		L6
	バス・クラリネット	吹入管		
	サクソ(ソプラノ、バリトン)	ベル		L7
	サクソ(アルト、テナー)	ネック		
	トランペット/コルネット	上主管		L8
	TDM-37S	トランペット/コルネット	ベル	S1
		トロンボーン	ベル	S2

また、本機は、液晶表示が見やすいように自由に動かすことができます。
 ▲可動範囲内であっても、過度な力で無理に向きを変えると破損する恐れがあります。



▲楽器への取り付け、取り外しはていねいに行ってください。また、長時間取り付けたままにすると、取り付け跡が残る場合があります。
 ▲楽器の経年変化や塗装などの状態によっては、本機の装着により損傷を与える恐れがあります。

仕様

仕様			
チューナー部			
音律:	12平均律		
測定精度:	±1セント以内		
測定範囲(サイン波):	A0(27.50Hz) ~ C8(4186Hz)		
基準ピッチ範囲:	A4=410 ~ 480Hz(1Hz単位)		
移調範囲:	C、F、B ^b 、E ^b		
メトロノーム部			
テンポ範囲:	♩=30 ~ 252	テンポ精度:	±0.1%
拍子範囲:	0 ~ 5拍子、2連符、3連符		
外形寸法:			
	TDM-37L	77mm(W) X 69mm(D) X 34mm(H)	
	TDM-37S	56mm(W) X 42mm(D) X 34mm(H)	
質量(電池含む):	TDM-37L	39g	TDM-37S 30g
電池寿命:			
チューナー	約8時間(A4入力 連続動作時)		
メトロノーム	約8時間(テンポ120、4拍子、発音 連続動作時)		
付属品:	動作確認用CR2032型リチウム電池(3V) 1個		

*M 各設定は、電源を切っても記憶しています。ただし、電池を交換した場合は、設定が初期化されます(チューナー・モード:クロマチック、キャリブレーション:442Hz、トランスポーズ:C[移調無し]、メトロノーム:テンポ120、4拍子)。
 ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

保証書 This warranty is valid only in Japan

この度はヤマハクリップオンチューナー/メトロノームTDM-37L、TDM-37Sをお買い上げ戴きましたこと、誠にありがとうございます。本書は、無償修理規定により無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

持込修理	品名/品番			クリップオンチューナー/メトロノーム TDM-37L TDM-37S
	保証期間	お買い上げの日から1ヶ年間		
	※お客様ご住所	〒	年	月
	ご氏名	様 TEL ()		

※この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、本保証規定に基づき無料修理に関する場合のみ使用いたします。

※販売店名

株式会社ヤマハミュージックジャパン
 商品企画部
 教育・アクセサリー企画課
 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
 TEL 03-5488-1686

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しください。

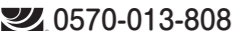

印

安全へのこころがけ	
火災・感電、人身傷害の危険を防止するには	
〜以下の指示を必ず守ってください〜	
 絵表示について	この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使つて説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。
 注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。	
 行為の強制を告げるものです。	 禁止の行為を告げるものです。
 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。	 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、過度に積み重ねての使用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
 この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。	 この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対にいれないでください。火災、感電の原因となります。
 この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。	 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすと、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。
 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。	
 次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など) 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所 ほこりの多い場所 振動の多い場所 ※特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。この機器を車内に放置しないでください。	

 電池使用時の注意	
 電池を入れるときは極性表示プラス(+)とマイナス(-)の向きに注意し表示どおりに入れてください。電池のプラス(+)マイナス(-)を逆に入れると電池の破裂、液もれ、発熱により、火災、けがや周辺を汚損する原因となる場合があります。	 電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。幼児が飲み込む危険があります。飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
 長時間使用しない場合や使いきった電池は、すぐに機器から取り出してください。電池が消耗し電池の破裂、液もれ、発熱により火災、けがや周辺を汚損する原因となる場合があります。	 使い切りタイプの電池は、充電しないでください。充電すると液漏れや破裂の原因になります。
 電池内部からもれ出た液(電解液)は直接触れないでください。 <ol style="list-style-type: none">電池内部からもれ出た液が目に入ったときは失明など障害の恐れがありますので、こすらずに多量のきれいな水で十分に洗った後、医師に相談してください。 電池内部からもれ出た液が皮膚や衣服に付着した場合には、化学やけどなど皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。 電池内部からもれ出た液をなめた場合には、すぐにかがいをして医師に相談してください。	 電池を分解しないでください。電池を分解すると、手や指を傷つれたり電池内部の電解液が飛び散り衣服を損傷したり、やけどなどのけがの原因となります。
 電池を加熱、火の中に入れるなどしないでください。過度の加熱や火の中に入れると電池の破裂、液もれ、などにより、けがの原因となります。	 電池を加熱、火の中に入れるなどしないでください。過度の加熱や火の中に入れると電池の破裂、液もれ、発熱により、火災、けがや周辺を汚損する原因となる場合があります。
 指定外の電池を使用しないでください。電池の破裂、液もれ、発熱により、火災、けがや周辺を汚損する原因となる場合があります。	 電池の廃棄については自治体の条例又はとりきめなどに従って廃棄してください。

 ■保証とアフターサービス
 ● 保証書 保証書は、販売店にて「販売店印、お買い上げ年月日」の押印、記入をしてお渡し致しますので、お買い上げの際にご確認の上、大切に保管ください。
 ● 保証期間 お買い上げ日から1年間です。
 ● 保証期間中の修理 保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
 ● 保証期間経過後の修理について 修理可能な部分は、ご要望により有料にて修理させていただきます。但し、修理料金の金額や補修部品の保有期間の都合により、相当品の代替購入をおすすめする場合がございます。

 ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)
 ◆修理のご依頼/修理についてのご相談窓口
 ヤマハ修理ご相談センター
 ● ナビダイヤル  0570-012-808 (全国共通番号)  発着料。 ※全国どこからも市内通話料金でおかけいただけます。上記の番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830
 ● FAX: 東日本地域: 03-5762-2125 (北海道、東北、関東、甲信越、東海 地域) 西日本地域: 06-6465-0367 (九州・沖縄、中国・四国、近畿、北陸 地域)
 ● 受付: 月曜～金曜 9:00～18:00/土曜9:00～17:00 (日曜・祝祭日およびセンター指定の定休日を除く)
 ◆ 修理品お持込み窓口
 ● 受付: 月曜～金曜 9:00～17:45 (土曜・日曜・祝祭日およびセンター指定の定休日を除く) ※お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。 東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和鳥2 丁目1-1 京浜トラックターミナル内14 号棟A-5F FAX 03-5762-2125 西日本サービスセンター 〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル 9F FAX 06-6465-0374

 ヤマハお客様コミュニケーションセンター
 お買い上げ製品の使用方法や取り扱いについては、ご購入店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。
 ヤマハお客様コミュニケーションセンター　管弦打楽器ご相談窓口
 ● ナビダイヤル  0570-013-808 (全国共通番号)  発着料。 ※全国どこからも市内通話料金でおかけいただけます。上記の番号でつながらない場合は TEL 053-411-4744
 ● 営業時間: 月曜～金曜10:00～18:00/土曜10:00～17:00 (日曜・祝祭日およびセンター指定の定休日を除く) http://jp.yamaha.com/support/
 商品に関する問い合わせ先
 株式会社ヤマハミュージックジャパン　商品企画部　教育・アクセサリー企画課 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL 03-5488-1686 ※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

 Precautions
 Location Using the unit in the following locations can result in a malfunction. <ul style="list-style-type: none">In direct sunlight Locations of extreme temperature or humidity Excessively dusty or dirty locations Locations of excessive vibration Close to magnetic fields
 Power supply Be sure to turn the power switch to OFF when the unit is not in use. Remove the battery in order to prevent it from leaking when the unit is not in use for extended periods.
 Interference with other electrical devices Radios and televisions placed nearby may experience reception interference. Operate this unit at a suitable distance from radios and televisions.
 Handling To avoid breakage, do not apply excessive force to the switches or controls.
 Care If the exterior becomes dirty, wipe it with a clean, dry cloth. Do not use liquid cleaners such as benzene or thinner, or cleaning compounds or flammable polishes.
 Keep this manual After reading this manual, please keep it for later reference.
 Keeping foreign matter out of your equipment Never set any container with liquid in it near this equipment. If liquid gets into the equipment, it could cause a breakdown, fire, or electrical shock. Be careful not to let metal objects get into the equipment.
 THE FCC REGULATION WARNING (for USA) NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures: <ul style="list-style-type: none">Reorient or relocate the receiving antenna. Increase the separation between the equipment and receiver. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help. If items such as cables are included with this equipment, you must use those included items. Unauthorized changes or modification to this system can void the user's authority to operate this equipment.

 Notice regarding disposal (EU only)
 If this symbol is shown on the product, manual, battery, or package, you must dispose of it in the correct manner to avoid harm to human health or damage to the environment. Contact your local administrative body for details on the correct disposal method. If the battery contains heavy metals in excess of the regulated amount, a chemical symbol is displayed below the symbol on the battery or battery package.
 CALIFORNIA USA ONLY
 This Perchlorate warning applies only to primary CR (Manganese Dioxide) Lithium coin cells sold or distributed ONLY in California USA. "Perchlorate Material—special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate."
 This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Complies with Canadian ICES-003 Class B. Conforme au Reglement Canadian NMB-003 classe B

 Notice regarding disposal (EU only)
 If this symbol is shown on the product, manual, battery, or package, you must dispose of it in the correct manner to avoid harm to human health or damage to the environment. Contact your local administrative body for details on the correct disposal method. If the battery contains heavy metals in excess of the regulated amount, a chemical symbol is displayed below the symbol on the battery or battery package.

 CALIFORNIA USA ONLY
 This Perchlorate warning applies only to primary CR (Manganese Dioxide) Lithium coin cells sold or distributed ONLY in California USA. "Perchlorate Material—special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate."

 This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Complies with Canadian ICES-003 Class B. Conforme au Reglement Canadian NMB-003 classe B
--

 無償修理規定
 1. 保証期間において正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には無償修理を致します。
 2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。ご贈答品、ご購入後の修理について、お買上げの販売店にご依頼できない場合は。最寄りのヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
 3. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。 <ol style="list-style-type: none">本書のご提示がない場合 本書にお買上げの年月日、お客様名、お買上げの販売店の記入がない場合、本書の字句を書き換えられた場合 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障、損傷 お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障、損傷 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害などによる故障、損傷 お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金
 4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 5. この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。
 ☆ この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

 IMPORTANT NOTICE TO CONSUMERS
 This product has been manufactured according to strict specifications and voltage requirements that are applicable in the country in which it is intended that this product should be used. If you have purchased this product via the internet, through mail order, and/or via a telephone sale, you must verify that this product is intended to be used in the country in which you reside. WARNING: Use of this product in any country other than that for which it is intended could be dangerous and could invalidate the manufacturer's or distributor's warranty. Please also retain your receipt as proof of purchase otherwise your product may be disqualified from the manufacturer's or distributor's warranty.

 Précautions

 Emplacement L'utilisation de cet instrument dans les endroits suivants peut en entraîner le mauvais fonctionnement. <ul style="list-style-type: none">En plein soleil Endroits très chauds ou très humides Endroits sales ou fort poussiéreux Endroits soumis à de fortes vibrations A proximité de champs magnétiques
--

 Alimentation Lorsque vous n'utilisez pas l'appareil, n'oubliez pas de le mettre hors tension. Retirez les piles pour éviter toute fuite lorsque l'appareil ne sera pas utilisé pendant de longues périodes de temps.
--

 Interférences avec d'autres appareils électriques Les postes de radio et de télévision situés à proximité peuvent par conséquent souffrir d'interférences à la réception. Veuillez dès lors faire fonctionner cet appareil à une distance raisonnable de postes de radio et de télévision.
--

 Maniement Pour éviter de les endommager, manipulez les commandes et les boutons de cet instrument avec soin.
--

 Entretien Lorsque l'instrument se salit, nettoyez-le avec un chiffon propre et sec. Ne vous servez pas d'agents de nettoyage liquides tels que du benzène ou du diluant, voire des produits inflammables.

 Conservez ce manuel Après avoir lu ce manuel, veuillez le conserver soigneusement pour toute référence ultérieure.
--

 Évitez toute intrusion d'objets ou de liquide Ne placez jamais de récipient contenant du liquide près de l'instrument. Si le liquide se renverse ou coule, il risque de provoquer des dommages, un court-circuit ou une électrocution.Veuillez à ne pas laisser tomber des objets métalliques dans le boîtier (trombones, par ex.).

 Note concernant les dispositions (Seulement EU)
 Si ce symbole apparaît sur le produit, le manuel, les piles ou les packs de piles, cela signifie que vous devez le recycler d'une manière correcte afin de prévenir les dommages pour la santé humaine et les dommages potentiels pour l'environnement. Contactez votre administration locale pour de plus amples renseignements concernant la bonne méthode de recyclage. Si la pile contient des métaux lourds au-delà du seuil réglementé, un symbole chimique est affiché en dessous du symbole de la poubelle barrée d'une croix sur la pile ou le pack de piles.

 REMARQUE IMPORTANTE POUR LES CLIENTS
 Ce produit a été fabriqué suivant des spécifications sévères et des besoins en tension applicables dans le pays où ce produit doit être utilisé. Si vous avez acheté ce produit via l'internet, par vente par correspondance ou/et vente par téléphone, vous devez vérifier que ce produit est bien utilisable dans le pays où vous résidez. ATTENTION: L'utilisation de ce produit dans un pays autre que celui pour lequel il a été conçu peut être dangereuse et annulera la garantie du fabricant ou du distributeur. Conservez bien votre récépissé qui est la preuve de votre achat, faute de quoi votre produit ne risque de ne plus être couvert par la garantie du fabricant ou du distributeur.

 Vorsichtsmaßnahmen

 Aufstellungsort Vermeiden Sie das Aufstellen des Geräts an Orten, an denen <ul style="list-style-type: none">es direkter Sonneneinstrahlung ausgesetzt ist; hohe Feuchtigkeit oder Extrempemperaturen auftreten können; Staub oder Schmutz in großen Mengen vorhanden sind; das Gerät Erschütterungen ausgesetzt sein kann. <ul style="list-style-type: none">in der Nähe eines Magnetfeldes.
--

 Stromversorgung Stellen Sie den Netzschalter auf OFF, wenn das Gerät nicht benutzt wird. Wenn Sie das Gerät über einen längeren Zeitraum nicht benutzen, nehmen Sie die Batterien heraus, damit sie nicht auslaufen.
--

 Störeinflüsse auf andere Elektrogeräte Dieser kann bei in der Nähe aufgestellten Rund-funkempfängern oder Fernsehgeräten Empfangsstörungen hervorrufen. Betreiben Sie solche Geräte nur in einem geeigneten Abstand von diesem Erzeugnis.

 Bedienung Vermeiden Sie bei der Bedienung von Schaltern und Reglern unangemessenen Kraftaufwand.
--

 Reinigung Bei auftretender Verschmutzung können Sie das Gehäuse mit einem trockenen, sauberen Tuch abwischen. Verwenden Sie keinerlei Flüssigreiniger wie beispielsweise Reinigungsbenzin, Verdünnungs- oder Spülmittel. Verwenden Sie niemals brennbare Reiniger.
--

 Bedienungsanleitung Bewahren Sie diese Bedienungsanleitung gut auf, falls Sie sie später noch einmal benötigen.

 Flüssigkeiten und Fremdkörper Stellen Sie niemals Behältnisse mit Flüssigkeiten in der Nähe des Geräts auf. Wenn Flüssigkeit in das Gerät gelangt, können Beschädigung des Geräts, Feuer oder ein elek-trischer Schlag die Folge sein. Beachten Sie, daß keinerlei Fremdkörper in das Gerät gelangen.

 Hinweis zur Entsorgung (Nur EU)
 Wenn Sie das Symbol mit der „durchgekreuzten Mülltonne“ auf Ihrem Produkt, der dazugehörigen Bedienungsanleitung, der Batterie oder der Verpackung sehen, müssen Sie das Produkt in der vorgeschriebenen Art und Weise entsorgen um Schäden an der menschlichen Gesundheit und der Umwelt zu vermeiden. Batterien oder Akkus, die Schadstoffe enthalten, sind auch mit dem Symbol einer durchgekreuzten Mülltonne gekennzeichnet. In der Nähe zum Mülltonnensymbol befindet sich die chemische Bezeichnung des Schadstoffes.

 WICHTIGER HINWEIS FÜR KUNDEN
 Dieses Produkt wurde unter strenger Beachtung von Spezifikationen und Spannungsanforderungen hergestellt, die im Bestimmungsland gelten. Wenn Sie dieses Produkt über das Internet, per Postversand und/oder mit telefonischer Bestellung gekauft haben, müssen Sie bestätigen, dass dieses Produkt für Ihr Wohngebiet ausgelegt ist. WARNUNG: Verwendung dieses Produkts in einem anderen Land als dem, für das es bestimmt ist, verwendet wird, kann gefährlich sein und die Garantie des Herstellers oder Importeurs hinfällig lassen werden. Bitte bewahren Sie diese Quittung als Kaufbeleg auf, da andernfalls das Produkt von der Garantie des Herstellers oder Importeurs ausgeschlossen werden kann.

 Precauciones

 Ubicación El uso de la unidad en las siguientes ubicaciones puede dar como resultado un mal funcionamiento: <ul style="list-style-type: none">Expuesto a la luz directa del sol Zonas de extremada temperatura o humedad Zonas con exceso de suciedad o polvo Zonas con excesiva vibración Cercano a campos magnéticos
--

 Fuente de alimentación Apague la unidad cuando no la use la batería. Retire las baterías si no va a usar la unidad durante un tiempo largo.

 Interferencias con otros aparatos Las radios y televisores situados cerca pueden experimentar interferencias en la recepción. Opere este dispositivo a una distancia prudencial de radios y televisores.
--

 Manejo Para evitar una rotura, no aplique excesiva fuerza a los conmutadores o controles.

 Cuidado Si exterior se ensucia, límpiese con un trapo seco. No use líquidos limpiadores como disolvente, ni compuestos inflamables.

 Guarde este manual Después de leer este manual, guárdelo para futuras consultas.
--

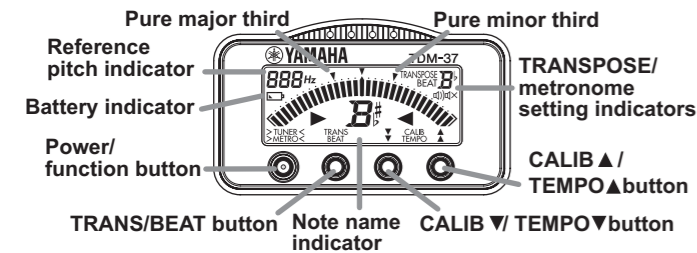
 Mantenga los elementos externos alejados del equipo Nunca coloque ningún recipiente con líquido cerca de este equipo, podría causar un cortocircuito, fuero o descarga eléctrica. Cuide de que no caiga ningún objeto metálico dentro del equipo.

 Nota respecto a residuos y deshechos (solo UE)
 Si aparece el símbolo del cubo de basura tachado sobre un producto, su manual de usuario, la batería, o el embalaje de cualquiera de éstos, significa que cuando tire dichos artículos a la basura, ha de hacerlo en acuerdo con la normativa vigente de la Unión Europea para prevenir daños a la salud pública y al medioambiente. Le rogamos que se ponga en contacto con su oficina o ministerio de medioambiente para más detalles. Si la batería contiene metales pesados por encima del límite permitido, habrá un símbolo de un material químico, debajo del símbolo del cubo de basura tachado.

 NOTA IMPORTANTE PARA EL CONSUMIDOR
 Este producto ha sido fabricado de acuerdo a estrictas especificaciones y requerimientos de voltaje aplicables en el país para el cual está destinado. Si ha comprado este producto por internet, a través de correo, y/o venta telefónica, debe usted verificar que el uso de este producto está destinado al país en el cual reside. AVISO: El uso de este producto en un país distinto al cual está destinado podría resultar peligroso y podría invalidar la garantía del fabricante o distribuidor. Por favor guarde su recibo como prueba de compra ya que de otro modo el producto puede verse privado de la garantía del fabricante o distribuidor.



Parts of the TDM-37L/S



Installing the battery

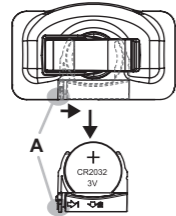
⚠ Make sure to turn the power off before you install or replace the battery.

When the battery begins to run low, the battery indicator (🔋) will light up.

The TDM-37L/S will continue to function for a while longer, but tuning will become less accurate. Replace the battery as soon as possible.

1. While lightly pressing on the battery holder on the back of the TDM-37L/S, in direction ➡1 of the part marked A, pull it in direction ⇩2 to remove the battery holder.
2. Making sure to observe the correct polarity, insert the battery so that the “+” side of the battery is visible.
3. Return the battery holder to its original position.

Illustration TDM-37S



Backlight

The backlight will illuminate brightly when sound is input, the metronome is activated or when a button is pressed.

When there has been no user input for approximately three seconds, the backlight will dim slightly in order to prevent the battery from being depleted.

Switching between the tuner and metronome

Press the power/function button to switch between the tuner and metronome.

At the same time, the display will switch to the selected function.

Tuning

Tuning procedure

1. Press the power/function button to turn on the TDM-37L/S and activate the tuner. If the power is left on for approximately 20 minutes without any user input, it will turn off automatically.

⚠ To turn off the TDM-37L/S, hold down the power/function button.

2. If necessary, change the calibration and transpose settings.

3. Play a single note on your instrument.

The display will show the name of the note that’s closest to the pitch detected. Tune your instrument to the correct pitch so that the desired note name appears.

4. Once again, play a single note on your instrument and adjust the tuning so that the center segment of the meter (indicated by ▼) is lit up.

An indicator toward the right will light up if the pitch is too high, and an indicator toward the left will light up if the pitch is too low.

If you want to tune to a pure major third or pure minor third above a certain note, adjust the pitch to the pure major or minor third marks on the meter.

For example if you want to tune to a pure major third above A, make the note name indicator read C♯, and tune so that the meter indicates the left [▼]. Alternatively, if you want to tune to a pure minor third above A, make the note name indicator read C, and tune so that the meter indicates the right [▼].

⚠ Even if the pitch is within the range of detection, it may not be possible to detect the pitch of an instrumental sound that contains large numbers of overtones or a sound that has a rapid decay.

⚠ The meter may respond to vibrations it picks up from the environment; however, this will not affect tuning of the instrument.

Calibration (reference pitch) settings (*M)

Press the CALIB [▲] or [▼] button to change the setting within the range of 410 Hz to 480 Hz in 1 Hz steps. Hold down the button to increase or decrease the setting continuously.

Transpose (*M)

This function is for tuning a transposing instrument. Each time you press the TRANS button, the setting will cycle between F → B♭ → E♭ → C (no transposition; the TRANS-POSE indicator will not appear) → F...

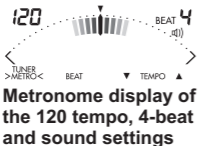
Using the metronome

1. Press the power/function button to activate the metronome.

The metronome starts, and the metronome pendulum will swing left and right according to the tempo.

2. Each time you press the power/function button, the function will cycle between metronome (no sound) → metronome (sound) → tuner → metronome (no sound)...

At this time, the metronome setting indicators will cycle between ㊦ (no sound) → ㊦ (sound) → no indicator (tuner) → ㊦ (no sound)...



Metronome display of the 120 tempo, 4-beat and sound settings

3. Using the TEMPO [▲] and [▼] buttons, set the tempo (*M). Hold down the button to increase or decrease the setting continuously.

4. Press the BEAT button to select the BEAT setting (*M). Hold down the button to increase or decrease the setting continuously. BEAT: 4 → 5 → 2 (duplet) → 3 (triple) → 0 → 1 → 2 → 3 → 4 → ...

5. To stop the metronome, press the power/function button to activate the tuner, or hold down the power/function button to turn off the TDM-37L/S.

⚠ When the TDM-37L/S is turned on, the tuner is activated.

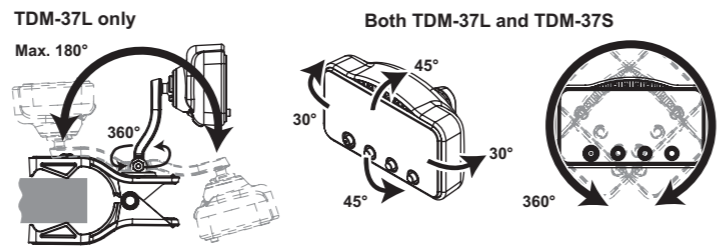
Attaching to the instrument and range of motion

The TDM-37L/S tunes by picking up the vibrations of the instrument. Therefore, attach the TDM-37L/S to the recommended part of your instrument in order to tune it (refer to the illustrations on the back of this sheet).

Model name	Instrument name	Attachment location	Illustration
TDM-37L	Horn (Single, Double)	First tube	L1
	Tuba	Mouth pipe	L2
	Euphonium	Bell	L3
	Oboe	Bell body	L4
	Bassoon	Wing joint area	L5
	E♭ Clarinet	Upper joint	
	B♭ Clarinet	Bell	L6
	Bass clarinet	Blowing tube	
TDM-37S	Saxophone (Soprano, Baritone)	Bell	
	Saxophone (Alto, Tenor)	Neck	L7
	Trumpet / Cornet	Main tube	L8
	Trombone	Bell	S2

In addition, the TDM-37L/S can be freely moved so that the display is easy to read.

⚠ The TDM-37L/S may be damaged if you apply excessive force within its range of motion, or attempt to move it beyond its intended range of motion.



⚠ Please carefully attach the TDM-37L/S to your instrument. Leaving the TDM-37L/S attached for a long time may damage or mark the instrument’s surface.

⚠ Depending on various factors such as age-related change or the surface finish, there is a possibility that your instrument may be damaged by attaching this product.

Specifications

Tuner	
Scale:	12-note equal temperament
Range (sine wave):	Chromatic A0 (27.50 Hz)–C8 (4186 Hz)
Precision:	+/-1 cent
Reference pitch:	A4 = 410–480 Hz (1 Hz steps)
Transposition range:	C, F, B♭, E♭
Metronome	
Tempo range:	♩ = 30–252
Tempo accuracy:	±0.1%
Beat range:	0–5 beats, duplet, triplet

Dimensions:	TDM-37L	TDM-37S
	77 mm(W) X 69 mm(D) X 34 mm(H) 3.03 inches (W) X 2.72 inches (D) X 1.34 inches (H)	56 mm(W) X 42 mm(D) X 34 mm(H) 2.20 inches (W) X 1.65 inches (D) X 1.34 inches (H)
Weight:	TDM-37L 39 g/1.38 oz. (including battery)	TDM-37S 30 g/1.06 oz. (including battery)

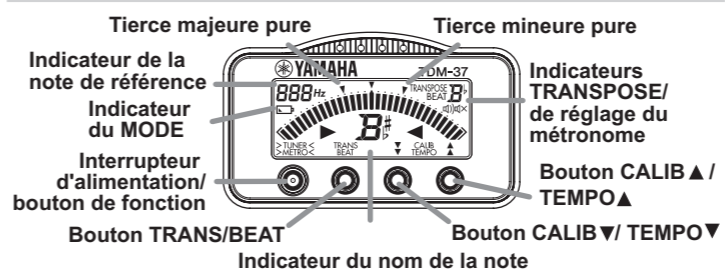
Battery life	
Tuner:	Approximately 8 hours (A4 input, operating continuously)
Metronome:	Approximately 8 hours (120 tempo, 4 beats, sound, operating continuously)

Included items: CR2032 lithium battery (3 V)

*M Settings are remembered even when the power is off. However, settings will be initialized when you replace the battery (default, calibration: 442 Hz, no transposition (C); metronome: tempo = 120, beat = 4).

• Specifications and appearance are subject to change without notice for improvement.

Parties du TDM-37L/S



Mise en place de la pile

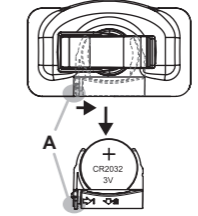
⚠ Coupez toujours l'alimentation avant de changer la pile.

Quand la pile commence à s'épuiser, l'indicateur de pile (🔋) s'allume.

Le TDM-37L/S continue à fonctionner à fonctionner un certain temps mais l'accordage devient moins précis. Remplacez la pile aussi vite que possible.

1. Tout en appuyant légèrement sur la portion A du compartiment de pile au dos du TDM-37L/S dans la direction ➡1, tirez le compartiment dans la direction ⇩2 pour l'extraire de l'accordeur.
2. Remplacez la pile en veillant à respecter la polarité: la face “+” de la pile doit être visible.
3. Remettez en place le compartiment de pile.

Illustration: TDM-37S



Rétroéclairage

Le rétroéclairage illumine fortement l'écran quand l'instrument reçoit un signal, quand la fonction métronome est active ou quand vous enfoncez un bouton. Après environ 3 secondes sans aucun signal ou manipulation, l'intensité du rétroéclairage diminue afin d'économiser la pile.

Alterner entre l'accordeur et le métronome

Appuyez sur l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction pour alterner entre l'accordeur et le métronome.

L'écran active alors l'affichage de la fonction sélectionnée.

Accordage

Procédure d'accordage

1. Appuyez sur l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction pour mettre le TDM-37L/S sous tension et activer l'accordeur. Si l'instrument reste sous tension pendant environ 20 minutes sans aucun signal ou manipulation, il se met automatiquement hors tension.

⚠ Pour mettre le TDM-37L/S hors tension, maintenez enfoncé son interrupteur d'alimentation/bouton de fonction.

2. Si nécessaire, vous pouvez modifier les réglages de calibrage et de transposition.
3. Jouez une note isolée sur l'instrument. L'écran affiche le nom de la note la plus proche de la hauteur détectée. Accordez grossièrement votre instrument de sorte à faire apparaître la note voulue.

4. Jouez à nouveau une note isolée sur l'instrument et accordez-la jusqu'à ce que le segment central de l'indicateur (repéré par ▼) s'allume.

Le témoin côté droit s'allume si la note est trop haute et le témoin côté gauche s'allume si la note est trop basse. Si vous voulez vous accorder une tierce majeure pure ou une tierce mineure pure plus haut qu'une note donnée, réglez la hauteur de sorte que l'écran affiche l'indicateur de tierce majeure pure ou de tierce mineure pure. Si, par exemple, vous voulez vous accorder une tierce majeure pure au-dessus de La, veillez à ce que l'indicateur du nom de la note corresponde à “C♯”, et accordez-vous de sorte que le segment de gauche (repéré par [▼]) s'allume à l'écran. Pour vous accorder une tierce mineure pure au-dessus de La, veillez à ce que l'indicateur du nom de la note corresponde à “C”, et accordez-vous de sorte que le segment de droite (repéré par [▼]) s'allume à l'écran.



Indications à l'écran quand l'accord est correct

⚠ Même si la note se trouve à l'intérieur de la plage de détection, elle peut ne pas être détectée si le son de l'instrument de musique contient un grand nombre d'harmoniques ou un temps de descente rapide.

⚠ Il se pourrait que l'accordeur réagisse à des vibrations ambiantes qu'il capte; cela n'affecte toutefois pas l'accord de l'instrument.

Réglages de calibrage (diapason) (*M)

Appuyez sur le bouton CALIB [▲] ou [▼] pour ajuster le calibrage; la plage de réglage s'étend de 410 Hz à 480 Hz par pas de 1 Hz. Vous pouvez augmenter ou diminuer le réglage de façon continue en maintenant le bouton enfoncé.

Transposition (*M)

Cette fonction permet de transposer l'accord d'un instrument. Chaque pression sur le bouton TRANS sélectionne tour à tour les réglages de transposition suivants: F → B♭ → E♭ → C (pas de transposition; l'indicateur TRANSPOSE ne s'allume pas) → F...

Utilisation du métronome

1. Appuyez sur l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction pour activer le métronome. Le métronome démarre et le balancier du métronome mécanique oscille de gauche à droite à l'écran sur le tempo.

2. Chaque pression sur l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction sélectionne tour à tour les options suivantes: métronome (pas de son) → métronome (son) → accordeur → métronome (pas de son)...



Affichage de métronome pour un tempo de 120, une mesure à 4 temps et un réglage de son

L'écran reflète le réglage du métronome avec les indicateurs suivants: ㊦ (pas de son) → ㊦ (son) → pas d'indicateur (accordeur) → ㊦ (pas de son)...

3. Réglez le tempo du métronome (*M) avec les boutons TEMPO [▲] et [▼]. Vous pouvez augmenter ou diminuer le réglage de façon continue en maintenant le bouton enfoncé.

4. Appuyez sur le bouton BEAT pour sélectionner le réglage de mesure BEAT (*M). Vous pouvez passer les options en revue de façon continue en maintenant le bouton enfoncé. BEAT: 4 → 5 → 2 (binaire) → 3 (ternaire) → 0 → 1 → 2 → 3 → 4 → ...

5. Pour arrêter le métronome, appuyez sur l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction pour activer l'accordeur, ou maintenez enfoncé l'interrupteur d'alimentation/le bouton de fonction afin de mettre le TDM-37L/S hors tension.

⚠ La fonction d'accordeur est activée à la mise sous tension du TDM-37L/S.

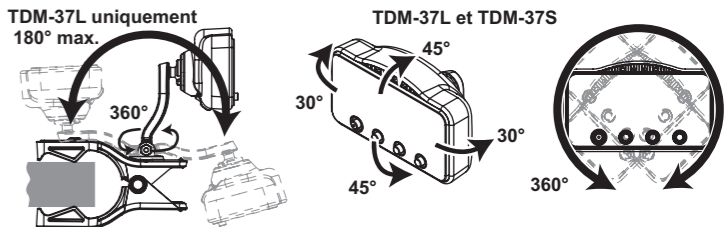
Fixation sur l'instrument et plage de manœuvre de l'accordeur

Le TDM-37L/S détermine l'accordage en captant les vibrations de l'instrument. Veillez donc à fixer le TDM-37L/S à l'emplacement recommandé sur votre instrument pour garantir un accordage fiable (voyez les illustrations au verso de ce feuillet).

Nom du modèle	Nom de l'instrument	Position	Illustration
TDM-37L	Cor (simple, double)	Premier tube	L1
	Tuba	Branche d'embouchure	L2
	Basse	Pavillon	L3
	Hautbois	Corps du pavillon	L4
	Basson	Petite branche	L5
	Clarinette E♭	Corps supérieur	
	Clarinette B♭	Pavillon	L6
	Clarinette basse	Bec	
TDM-37S	Saxophone (soprano, baryton)	Pavillon	L7
	Saxophone (alto, Ténor)	Bocal	
	Trompette / Cornet à bouquin	Premier tube	L8
	Trombone	Pavillon	S2

En outre, vous pouvez déplacer et manœuvrer le TDM-37L/S comme bon vous semble pour une lisibilité parfaite de son écran.

⚠ Vous risquez d'endommager le TDM-37L/S si vous le manipulez avec une force excessive ou si vous tentez de le manipuler en dehors de sa plage de manœuvre.



⚠ S'il vous plaît, attachez soigneusement le TDM-37L/S à votre instrument. Le laisser attaché pendant un long moment, peut rayer la surface de votre instrument.

⚠ Dépendant de plusieurs facteurs comme le changement dû à l'âge de l'instrument ou la finition de la structure, il y a une possibilité que votre instrument soit endommagé par le système d'attache par pince.

Spécifications

Accordeur	
Gamme:	12 notes tempérament égal
Plage de détection (onde sinu):	chromatique A0 (27,50 Hz)–C8 (4186 Hz)
Précision:	+/-1 centième
Note de référence:	A4 = 410 à 480 Hz (paliers de 1 Hz)
Plage de transposition:	C, F, B♭, E♭

Métronome	
Plage de tempo:	♩ = 30–252
Précision du tempo:	±0,1%
Types de mesure:	0–5 temps, binaire, ternaire

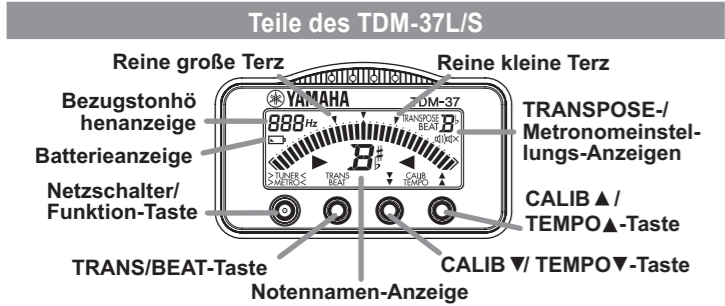
Dimensions:	TDM-37L	TDM-37S
	77 mm (L) x 69 mm (P) x 34 mm (H)	56 mm (L) x 42 mm (P) x 34 mm (H)
Poids:	TDM-37L 39 g (pile comprise)	TDM-37S 30 g (pile comprise)

Autonomie de la pile	
Accordeur:	Environ 8 heures (utilisation continue, entrée de la note A4)
Métronome:	Environ 8 heures (120 tempo, 4 mesure, son, utilisation continue)

Accessoires fournis: Pile au lithium CR2032 (3 V)

*M Les réglages sont conservés même quand l'appareil est mis hors tension. Néanmoins, les réglages seront réinitialisés si vous remplacez la pile (réglages par défaut, mode d'accordeur: chromatique, calibrage: 442 Hz, pas de transposition (C, alias 'do'); métronome: tempo = 120, mesure = 4).

• Les caractéristiques et l'aspect du produit sont susceptibles d'être modifiés sans avis préalable en vue d'une amélioration.



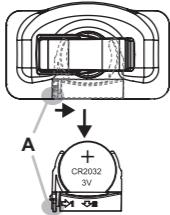
Einsetzen der Batterie

⚠ *Deaktivieren Sie den Netzschalter, bevor Sie die Batterie einlegen oder austauschen.*

Wenn die Batterie fast erschöpft ist, leuchtet die Batterieanzeige (🔋) auf. Der TDM-37L/S funktioniert dann zwar noch eine Weile, allerdings lässt seine Genauigkeit dann ebenfalls nach. Wechseln Sie die Batterie also so schnell wie möglich aus.

- Um den Batteriehalter auf der Rückseite des TDM-37L/S zu entfernen, drücken Sie ihn leicht in Richtung 1 und ziehen Sie ihn in Richtung 2.
- Um die korrekte Polarität zu gewährleisten, legen Sie die neue Batterie so ein, dass die „+“-Seite sichtbar ist.
- Setzen Sie den Batteriehalter in seine Ausgangsposition zurück.

Abbildung TDM-37S



Hintergrundbeleuchtung

Die Hintergrundbeleuchtung wird aktiviert, wenn ein Eingangssignal empfangen wird, das Metronom aktiviert ist oder eine Taste gedrückt wird. Drei Sekunden nach der letzten Benutzereingabe lässt die Helligkeit der Hintergrundbeleuchtung etwas nach, um die Batterie zu schonen.

Zwischen Tuner und Metronom umschalten

Drücken Sie die Netzschalter/Funktion-Taste, um zwischen Tuner und Metronom umzuschalten. Dabei wechselt auch das Display zur gewählten Funktion.

Tuning

Tuning-Verfahren

- Drücken Sie die Netzschalter/Funktion-Taste, um den TDM-37L/S einzuschalten und den Tuner zu aktivieren.

Wenn das Gerät ca. 20 Minuten lang eingeschaltet bleibt, und keine Benutzereingabe erfolgt, schaltet es sich automatisch aus.

⚠ *Halten Sie die Netzschalter/Funktion-Taste gedrückt, um den TDM-37L/S auszuschalten.*

- Ändern Sie gegebenenfalls die Kalibrierungs- und Transpositionseinstellungen.
- Spiele Sie eine Einzelnote auf dem Instrument. Das Display zeigt den Namen der Note an, die der gespielten Note am nächsten kommt. Stimmen Sie Ihr Instrument so, dass der Name der gewünschten Note angezeigt wird.

- Spiele Sie erneut eine Einzelnote auf Ihrem Instrument und stimmen Sie so lange, bis das mittlere Metersegment (durch ▼ angezeigt) leuchtet. Eine Anzeige rechts davon leuchtet, wenn der Ton zu hoch ist, und eine Anzeige links davon leuchtet, wenn der Ton zu tief ist. Um auf eine reine große Terz oder eine reine kleine Terz über einer bestimmten Note zu stimmen, müssen Sie auf dem Meter die Tonhöhe auf die Markierungen für reine große bzw. reine kleine Terz einstellen. Beispiel: Um auf eine reine große Terz über „A“ zu stimmen, müssen Sie dafür sorgen, dass „C#“ als Notennamen angezeigt wird, und die Note dann so stimmen, dass das Meter auf der linken Markierung (▼) steht. Möchten Sie aber auf eine reine kleine Terz über „A“ stimmen, müssen Sie dafür sorgen, dass „C“ als Notennamen angezeigt wird, und die Note dann so stimmen, dass das Meter auf der rechten Markierung (▼) steht.



⚠ *Auch wenn die Tonhöhe innerhalb des Erkennungsbereichs ist, kann es unmöglich sein, die Tonhöhe eines Instrumentenklangs zu erkennen, wenn dieser einen hohen Anteil an Obertönen oder sehr schnelles Abklingen aufweist.*

⚠ *Das Meter kann auf Schwingungen aus der Umgebung reagieren. Dies beeinträchtigt allerdings nicht den Stimmvorgang des Instruments.*

Kalibrierungseinstellungen (Referenzton) (*M)

Drücken Sie die CALIB [▲]-Taste bzw. CALIB [▼]-Taste, um die Einstellung über einen Bereich von 410 Hz bis 480 Hz in Schritten von 1 Hz zu ändern. Halten Sie die Taste gedrückt, um den Wert fortlaufend zu erhöhen bzw. zu verringern.

Transponieren (*M)

Stimmen Sie mit dieser Funktion ein transponierendes Instrument. Durch wiederholtes Drücken der TRANS-Taste ändern Sie die Einstellung folgendermaßen: F → B♭ → E♭ → C (keine Transposition; keine TRANSPOSE-Anzeige) → F ...

Verwendung des Metronoms

- Drücken Sie die Netzschalter/Funktion-Taste, um das Metronom zu aktivieren. Das Metronom startet, und das Pendel schwingt entsprechend des Tempos von links nach rechts.
- Durch wiederholtes Drücken der Netzschalter/Funktion-Taste ändern Sie die Funktionsweise folgendermaßen: Metronom (kein Ton) → Metronom (Ton) → Tuner → Metronom (kein Ton) ... Die Metronomeinstellungs-Anzeigen wird dabei folgendermaßen angezeigt: 🎵× (kein Ton) → 🎵|| (Ton) → keine Anzeige (Tuner) → 🎵×(kein Ton) ...
- Stellen Sie mit der TEMPO [▲]-Taste bzw. TEMPO [▼]-Taste das Tempo ein (*M). Halten Sie die Taste gedrückt, um den Wert fortlaufend zu erhöhen bzw. zu verringern.



- Drücken Sie die BEAT-Taste, um die BEAT-Einstellung auszuwählen (*M). Halten Sie die Taste gedrückt, um den Wert fortlaufend zu erhöhen bzw. zu verringern. BEAT: 4 → 5 → 2 (Duole) → 3 (Triole) → 0 → 1 → 2 → 3 → 4 → ...

- Um das Metronom zu stoppen, drücken Sie die Netzschalter/Funktion-Taste zur Aktivierung des Tuners, oder halten Sie die Netzschalter/Funktion-Taste gedrückt, um den TDM-37L/S auszuschalten.

⚠ *Wenn der TDM-37L/S eingeschaltet wird, ist der Tuner aktiviert.*

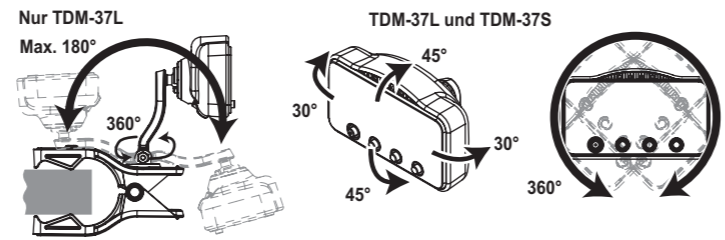
Anbringen an das Instrument und Bewegungsspielraum

Der TDM-37L/S stimmt Ihr Instrument, indem er dessen Schwingungen aufnimmt. Bringen Sie den TDM-37L/S deshalb an die empfohlene Stelle an Ihrem Instrument an, um es problemlos zu stimmen (beachten Sie die Abbildungen auf der Rückseite dieses Blattes).

Modellbezeichnung	Instrumentenname	Ansatz-Platzierung	Abbildung
TDM-37L	Horn (einzeln, doppel)	Erster Tubus	L1
	Tuba	Mundröhre	L2
	Tenorbaßhorn	Schallstück	L3
	Oboe	Schallbecher	L4
	Fagott	Flügelverbindung-Bereich	L5
	E♭ Klarinette	Oberstück	
	B♭ Klarinette	Schallstück	L6
	Bassklarinette	Blastubus	
TDM-37S	Saxophon (Sopran, Baryton)	Schallstück	
	Saxophon (Alt, Tenor)	Hals	L7
	Trompete / Kornett	Haupttubus	L8
	Trompete / Kornett	Schallstück	S1
	Posaune	Schallstück	S2

Darüber hinaus kann das TDM-37L/S frei bewegt werden, um die Ablesbarkeit des Displays zu verbessern.

⚠ *Das TDM-37L/S kann beschädigt werden, wenn innerhalb des Bewegungsspielraums übermäßige Kraft auf das Gerät ausgeübt wird bzw. wenn versucht wird, es über den Bewegungsspielraum hinaus zu bewegen.*



⚠ *Bitte befestigen Sie das TDM-37L/S vorsichtig an ihrem Instrument. Wenn Sie das TDM-37L/S für längere Zeit an ihrem Instrument befestigt lassen, kann dies zu Veränderungen an der Oberfläche des Instruments führen.*

⚠ *Abhängig von verschiedenen Faktoren wie z. B. altersbedingte Veränderungen der Lackierung/Oberfläche Ihres Instruments, kann es vorkommen dass ein Anbringen dieses Produkts zu einer Beschädigung führt.*

Technische Daten

Tuner		
Skala:	12 Noten gleichschwebende Stimmung	
Bereich (Sinuswelle):	Chromatisch	A0 (27,50 Hz)–C8 (4186 Hz)
Präzision:	+/-1 Cent	
Bezugstonhöhe:	A4 = 410–480 Hz (in Schritten von 1 Hz)	
Transpositionsbereich:	C, F, B♭, E♭	

Metronome	
Tempobereich:	♩ = 30–252
Tempogenauigkeit:	±0,1%
Taktbereich:	0–5 Taktschläge, Duole, Triole

Abmessungen:	TDM-37L	77 mm (B) x 69 mm (T) x 34 mm (H)
	TDM-37S	56 mm (B) x 42 mm (T) x 34 mm (H)

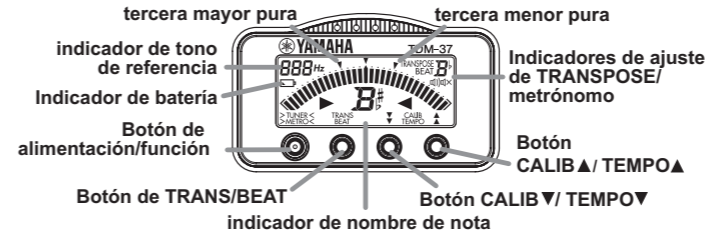
Gewicht:	TDM-37L	39 g (mit Batterie)
	TDM-37S	30 g (mit Batterie)

Batterielebensdauer	
Tuner:	ca. 8 Stunden (kontinuierlicher Betrieb mit eingeschaltetem Stimmgerät, A4-Eingang)
Metronome:	ca. 8 Stunden (120 bpm, 4 Taktschläge, Ton, Dauerbetrieb)
Lieferumfang:	CR2032 Lithiumbatterie (Knopfzelle, 3 V)

*M Die Einstellungen bleiben gespeichert, wenn das Gerät ausgeschaltet wird. Die Einstellungen werden zurückgesetzt, wenn Sie die Batterie ersetzen (Werkzeugeinstellung, Stimm-Modus: chromatisch, Kalibrierung: 442 Hz, keine Transposition (C); Metronom: Tempo = 120; Taktschläge = 4).

- Änderungen der technischen Daten und des Designs ohne vorherige Ankündigung vorbehalten.

Partes del TDM-37L/S



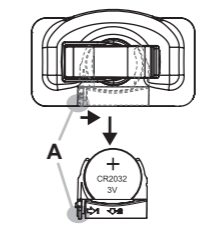
Instalación de la Batería

⚠ *Apague la unidad antes de instalar o reemplazar la batería.*

Cuando la batería comience a agotarse, se iluminará el indicador de batería (🔋). El TDM-37L/S seguirá funcionando un tiempo, pero será menos exacto. Reemplace la Batería tan pronto como sea posible.

- Mientras presiona suavemente en la dirección 1 la parte marcada como A del soporte de la batería en la parte posterior del sistema TDM-37L/S, tire en la dirección 2 para retirar el soporte de la batería.
- Inserte la batería asegurándose de que la polaridad es correcta, de forma que la cara “+” de la batería sea visible.
- Vuelva a colocar el soporte de la batería en su posición original.

Ilustración del TDM-37S



Retroiluminación

La retroiluminación se hace más brillante cuando hay sonido de entrada, metronomo o cuando se pulsa un botón.

Si el usuario no realiza ninguna operación durante unos tres segundos, la retroiluminación se atenuará ligeramente para evitar que la batería se agote.

Conmutación entre el afinador y el metrónomo

Pulse el botón de alimentación/función para alternar entre el afinador y el metrónomo. Al mismo tiempo, la pantalla también cambiará a la función seleccionada.

Afinación

Procedimiento de afinación

- Pulse el botón de alimentación/función para encender el TDM-37L/S y activar el afinador. Si la alimentación se deja durante unos 20 minutos sin que el usuario realice ninguna acción, se apagará de forma automática.

⚠ *Para apagar el TDM-37L/S, mantenga pulsado el botón de alimentación/función.*

- En caso necesario, cambie los ajustes de calibración y transposición.
- Toque una sola nota en su instrumento. La pantalla mostrará el nombre de la nota más cercana al tono detectado. Afine su instrumento con el tono correcto para que aparezca el nombre de la nota deseada.

- De nuevo, toque una nota en su instrumento y ajuste la afinación de forma que se ilumine el segmento central del medidor (indicado por ▼).

El indicador de la derecha se iluminará si el tono es demasiado agudo, y el indicador de la izquierda se iluminará si es demasiado grave.

Si desea afinar una tercera mayor pura o una tercera menor pura por encima de una cierta nota, ajuste el tono hasta que la tercera mayor o menor pura se marque en el medidor. Por ejemplo, si desea afinar una tercera mayor pura por encima de A, haga que el indicador de nombre de nota marque C♯ y afine de forma que el medidor indique la izquierda (▼). Asimismo, si desea afinar una tercera menor pura por encima de A, haga que el indicador de nombre de nota marque C y afine de forma que el medidor indique la derecha (▼).

⚠ *Aunque el tono esté dentro del rango de detección, puede que no sea posible detectar el tono de un sonido que contenga gran cantidad de armónicos o que tenga una rápida caída.*

⚠ *El medidor puede responder a las vibraciones que recoge del entorno; sin embargo, eso no afectará a la afinación del instrumento.*

Ajustes de la calibración (tono de referencia) (*M)

Pulse el botón CALIB [▼] o [▲] para cambiar el ajuste en el intervalo de 410 Hz a 480 Hz en pasos de 1 Hz. Mantenga pulsado el botón para aumentar o reducir el ajuste de forma continua.

Transposición (*M)

Esta función se utiliza para afinar un instrumento de transposición. Cada vez que pulse el botón TRANS, el ajuste cambiará entre F → B♭ → E♭ → C (sin transposición; el indicador TRANSPOSE no aparecerá) → F...

Uso del metrónomo

- Pulse el botón de alimentación/función para activar el metrónomo. El metrónomo se inicia y el péndulo del metrónomo oscilará de izquierda a derecha según el tempo.

- Cada vez que pulse el botón de alimentación/función, la función cambiará entre metrónomo (sin sonido) → metrónomo (sonido) → afinador → metrónomo (sin sonido)... En este punto, los indicadores de ajuste del metrónomo cambiarán entre: 🎵× (sin sonido) → 🎵|| (sonido) → sin indicador (afinador) → 🎵× (sin sonido)...

- Con los botones TEMPO [▲] y [▼], ajuste el tempo (*M). Mantenga pulsado el botón para aumentar o reducir el ajuste de forma continua.

- Pulse el botón BEAT para seleccionar el ajuste BEAT (*M). Mantenga pulsado el botón para aumentar o reducir el ajuste de forma continua. BEAT: 4 → 5 → 2 (dosillo) → 3 (tresillo) → 0 → 1 → 2 → 3 → 4 → ...



- Para detener el metrónomo, pulse el botón de alimentación/función para activar el afinador o mantenga pulsado el botón de alimentación/función para apagar el TDM-37L/S.

⚠ *Cuando el TDM-37L/S está encendido, el afinador está activado.*

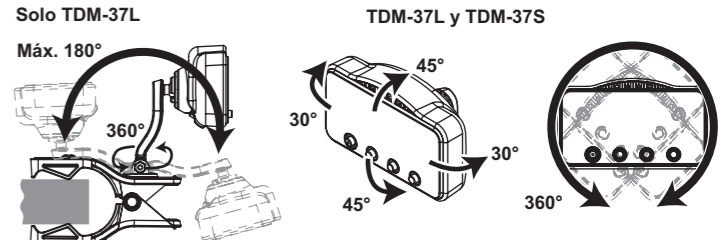
Colocación en el instrumento e intervalo de movimiento

El sistema TDM-37L/S realiza la afinación recogiendo las vibraciones del instrumento. Por tanto, coloque el TDM-37L/S en la pieza recomendada de su instrumento para afinarlo (consulte las ilustraciones en la parte posterior de este documento).

Nombre del modelo	Nombre de instrumento	Posición de Sujeción	Ilustración
TDM-37L	Trompa (solo, doble)	Primera vara	L1
	Tuba	Tubo de la boquilla	L2
	Euphonium	Pabellón	L3
	Oboe	Cuerpo del pabellón o campana	L4
	Fagot	Área de la junta	L5
	Clarinete E♭	Cuerpo superior	
	Clarinete B♭	Pabellón	L6
	Clarinete bajo	Tubo de la boquilla	
TDM-37S	Saxofón (soprano, barítono)	Pabellón	
	Saxofón (alto, tenor)	Cuello	L7
	Trompeta / corneta	Vara principal	L8
	Trompeta / corneta	Pabellón	S1
	Trombón	Pabellón	S2

Además, el TDM-37L/S se puede mover libremente para leer la pantalla con facilidad.

⚠ *El TDM-37L/S puede resultar dañado si ejerce una fuerza excesiva en su intervalo de movimiento, o si intenta desplazarlo más allá de su intervalo de movimiento previsto.*



⚠ *Por favor sujete con cuidado e TDM-37L/S a su instrumento. Si deja el TDM-37L/S sujeto al instrumento durante un largo periodo, puede dañar la superficie del instrumento.*

⚠ *Dependiendo de varios factores, como el envejecimiento del acabado de la superficie, existe la posibilidad de que su instrumento pueda dañarse por la colocación del afinador.*

Especificaciones

Afinador	
Escala:	12-notas, temperamento igual (Cromático)
Rango (onda sinusoidal):	cromático A0 (27,50 Hz)–C8 (4186 Hz)
Precisión:	+/-1 centésima
Bezugstonhöhe:	A4 = 410–480 Hz (en pasos de 1 Hz)
Transposition range:	C, F, B♭, E♭

Metronomo	
Intervalo de tempo:	♩ = 30–252
Precisión de tempo:	±0,1%
Intervalo de tiempo:	0–5 tiempos, dosillo, tresillo

Dimensiones:	TDM-37L	77 mm (Anch.) x 69 mm (Prof.) x 34 mm (Alt.)
	TDM-37S	56 mm (Anch.) x 42 mm (Prof.) x 34 mm (Alt.)

Peso:	TDM-37L	39 g (incluyendo batería)
	TDM-37S	30 g (incluyendo batería)

Vida de la Batería:	
Afinador:	Aproximadamente 8 horas (entrada A4, funcionando continuamente)
Metronomo:	Aproximadamente 8 horas (tempo 120, 4 tiempos, sonido, funcionando continuamente)

Elementos incluidos: Batería de litio CR2032 (3 V)

*M Los Ajustes son recordados al apagar la unidad. No obstante, los Ajustes serán inicializados a reemplazar la batería (valor por defecto, modo de afinador: cromático, calibración: 442 Hz, sin transposición (C); metrónomo: tempo = 120, tiempo = 4).

- Las especificaciones y el aspecto están sujetas a cambios sin previo aviso por mejora.